



川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第11号

令和7年2月に開催した各専門部会の検討内容を報告します！

前回の学園NEWS10号に引き続き、専門部会の検討内容をご報告します。
なお、専門部会の会議の詳細は市HPに掲載していますので、併せてご覧ください。

各専門部会の
会議内容は市HP
に順次公開します。
詳細はこちら▶



第1回学校生活部会（開催日 令和7年2月17日）

【部会での検討事項】

学校行事、児童・生徒会、縦割り活動、制服・体操服・学用品等、クラブ活動、部活動の検討など

【会議の内容】

部会での検討事項について、各小中学校の現状をもとに意見交換を行った。

【話し合いで出された主な意見など】

- ・（学校行事）1年から9年生に加えて、保護者も参加するような式典や行事となると会場の制約がある。音楽会や文化祭など合同実施が可能な行事はあるので、どの学年から参集するかを検討が必要。
- ・（児童・生徒会）小中学校で別々の組織として活動した方が良い。必要に応じて合同で出来る活動を見つけたらどうか。給食時間の放送を一緒にやったり、小学生が中学校で朝の挨拶運動など、色々できそう。
- ・（制服・体操服）制服の方針決定までに時間がかかるため、早めに動く必要がある。児童・生徒・保護者を対象に制服の必要性やどんな制服が良いか、まずはアンケートを実施して意向を確認する。
- ・（クラブ活動、部活動）働き方改革や地域移行で部活動の種目を増やせるかは不透明なところがある。6年生から部活の体験ができればよい。体験を通じて、部活でのびのびやるか、クラブチームに入るか、子どもが事前に決めることができる。

第1回地域コミュニティ・PTA部会（開催日 令和7年2月13日）

【部会での検討事項】

PTA組織、国型コミュニティ・スクールへの移行、地区子ども会、登校班、同窓会等の検討

【会議の内容】

PTA及び国型コミュニティ・スクールの意見交換を行った。

【話し合いで出された主な意見など】

- ・保護者や川岸の住民の方へのPTA規則や会則等の周知、意見の集約をどうやっていくかが課題。
- ・PTA組織について、小中学校のPTAの役割を確認した上で、この役割は無くせないか、この取り組みは残したほうが良いのではという形で話し合いを進めていったらどうか。
- ・まずは小中学校のPTA役員で話し合いをして、おおまかな方向性を決めていったほうがいい。その後、部会でたたき台を作成し、保護者に提示し、出てきた意見を取り入れていく方法をとる方が動きやすい。
- ・国型コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を立ち上げる必要があるのか。また、コミュニティ・スクールはPTA組織とは別なのか。そもそもの知識や経験がない。
- ・県南信教育事務所が国型コミュニティ・スクールの導入支援等に取り組んでいるので、まずは部会に講師として呼んで、勉強会を実施することから始める。

第1回総務部会（開催日 令和7年2月25日）

【部会での検討事項】

校名・校章・校旗、校歌の検討 及び 式典（開校式）の開催に向けた検討、準備

【会議の内容】

校名の検討に向けて、意見交換を行った。

【話し合いで出された主な意見など】

- ・初期の義務教育学校は、「〇〇義務教育学校」という校名が多いが、現在は圧倒的に「〇〇学園」が多い。中には、こだわりや願いが入っているものもあり、校名は自由に選べる傾向がある。
 - ・児童、保護者、地域等を対象に投票による選定がよいのでは。候補を出すか、白紙から考えてもらうかの検討が必要。校名変更には条例改正が必要なため、校名は令和7年度中に決定する方向で進める。
 - ・校名は何年も残るもの。時代負けしないような、いつの時代も色褪せないものにしたい。単純に華やかであったり、今風というだけで選ぶのはどうか。昔からある言葉は必ず理由があって今も残っている。新しい言葉はむしろ薄れていってしまうのではないか。
 - ・「学園」と聞くと、「つつじが丘学園」を連想してしまい、混乱する人もいる。新たに赴任される職員などは、「つつじが丘学園は川岸学園の分校か？」と勘違いしてしまう職員も出てくるのでは。
 - ・全国の学校でも、「このような子どもたちを育てたい」という願いがあって校名を決定しているはず。その地域の地名を入れれば良いというより、地域や市の中で「目指す子ども像」をもとに校名を決定したほうが良いのではないか。全国の校名について、背景を調べて、どのような意図があるか確認するとよい。
- ⇒次回、全国の先進自治体の校名に込めた思いや募集要項等を元に公募の選定方法を進める。

第1回施設部会（開催日 令和7年2月20日）

【部会での検討事項】

施設整備、仮設校舎時の学校運営（施設全般）、引っ越し等の調整、駐車場の配置計画、給食の配膳計画 備品関係などの検討

【会議の内容】

今後の整備スケジュールと仮設校舎の概要を説明し、意見交換を行った。

【話し合いで出された主な意見など】

- ・仮設校舎による学校運営の間、子どもたちの登校動線は岡谷西部中が中心となる。中学校の正門前の道路は上から車で降りてくる際に見通しが悪いため、子どもたちの見守りなど安全対策が必要。
- ・既存校舎から仮設校舎への引っ越し期間が非常に短いことが心配。学校の職員だけで行うのではなく、引っ越し業者や教育委員会職員の派遣もお願いしたい。
- ・子どもたちの遊び場が少ない印象がある。仮設グラウンドのほかに、岡谷西部中の第二体育館についても小学生が使えるように使用日などのルールを作る必要がある。
- ・郷土資料室には地域の貴重な歴史的物品が保管されているため、整理する際には地域にも声をかけていただきたい。また、整理する量にも限りがあるため、保管場所の確保をお願いしたい。
- ・資料の保管場所として、岡谷西部中の空き教室などは活用できないか。社会教育のための資料等として公民館での保管も考えていただきたい。

仮設校舎に関する保護者説明会を開催します！

令和7年度より、川岸学園の整備に伴い、仮設校舎の建設を進めます。年末頃から引っ越しを開始し、その後、仮設校舎での学校運営が始まる予定です。

仮設校舎に関する保護者への説明会について、右記の日程で開催予定の小中学校PTA総会の中でお時間をいただき、ご説明させていただきます。

施設整備にあたっては、子どもたちの安全確保を最優先に進めてまいりますので、保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

保護者説明会の開催日程

日 時: 令和7年4月18日(金)
場 所: 川岸小学校

日 時: 令和7年4月30日(水)
場 所: 岡谷西部中学校